

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課長 高橋 裕司	電話番号	0852-22-5149
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	防災ダム管理及び保守事務		
目的	(1) 対象	ダムの下流に居住する農家等	
	(2) 意図	ダム下流域の洪水被害をなくし、安全安心の生活や営農を確保する	
事業概要	・ダム下流農地や集落への洪水被害をなくすため、防災ダムの機器の修繕や更新等を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			適正かつ確実にダム管理ができた日数の割合	目標値		100.00	100.00	100.00	100.00
		(管理ができた日数/365日) × 100	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	73,185	36,832
うち一般財源(千円)	11,604	12,509

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・県下3箇所の農地防災ダム（清瀧ダム、嵯峨谷ダム、津田川ダム）を適切に管理できた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・適切かつ確実にダム管理ができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・耐用年数に達した機器等については随時更新が必要となる。

②困っている状況が発生している「原因」

・適切に維持するためには、毎年度管理費用が発生する。

③原因を解消するための「課題」

・今後とも継続的な予算確保が必要。
・費用の平準化を図るため、計画的な事業実施を行う必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・ダムの維持管理工事については、計画的に実施する。
・維持管理費の一層のコスト削減を図るとともに、計画的・効率的な事業実施を図る。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--